

第44回人間力オープンセミナー開催 2006年6月9日(金)

<概要> 私達は誰もが、他人の中で、社会との関わりの中で生きています。その時に必要となる「社会力」。「社会力」とは――

- ・一人一人の人間が社会の中で自分らしく生きていく力
- ・さまざまな人が本番で自分の実力を発揮するための力
- ・死の直前まで、貧しき人々のために働いたマザーテレサの心にあった力
- ・明治維新の志士たちが胸に抱いた力……

スポーツドクターとして、さまざまなアスリート達をサポートしている辻氏に、社会力の価値とは何か、今なぜ社会力なのか、どうすれば社会力を高めることができるのか、自らのご経験からお話いただきます。

<講師略歴> 辻 秀一 (つじ しゅういち) 氏

1961年生。栄光学園高等学校、北海道大学卒。慶応義塾大学医学部にて内科学を学んだ後、スポーツ医学を専門とする。プライベートオフィス「エミネクロスメディカルセンター」にて、QOL(クオリティオブライフ)をテーマに個別カウンセリングやユニークなメディカル事業・新しいスポーツ事業を展開している。スポーツ選手の「心」と「体」のコンディショニングを、さまざまなスポーツを楽しむ子供や大学チーム、障害者からプロ・オリンピック選手までチームドクターとしても多数サポートしている。日本体育協会公認スポーツドクター。また企業、教育機関などに独自の「勝利学」「コーチ力」「生きる力」をテーマにした講演や執筆活動を精力的に行っている。スポーツ版バッチ・アダムスを目指している。著書に「スラムダンク勝利学」「痛快みんなのスポーツ学」「ほんとうの社会力」「弱さを強さに変えるセルフコーチング」「たった今からハッピーになる人生を変える心の法則」「ピアノの先生のためのコーチ力」「人のためになる人、ならない人」他多数。

<詳細>

■時 間：開場 18:15 / セミナー 18:45 開始 20:15 終了 (質疑応答含)

■会 場：汐留シティセンター(24階大会議室) 港区東新橋 1-5-2

地図 <http://www.ga.fujitsu.co.jp/hon/shiomokuji.htm>

入館方法: 汐留勤務以外の方は、1階で従業員証を提示した後、直接24階大会議室前人間力オープンセミナー受付にお越し下さい。

■対 象：富士通グループ全社員

■参加費：1,000円

■持参品：当日は筆記用具をご持参ください。

■参加方法：参加ご希望の方は fimat-open@ml.jp.fujitsu.com まで、お名前、ご所属、メールアドレスをご連絡下さい。

■ホームページ：<http://www1.fimat.fujitsu.com/fmr/open/open-top.html>

■その他：会場までの交通費、日当は支給されません。

■主催：FUJITSU ユニバーシティ 担当：FIMAT 坂本 7154-3155 fimat-open@ml.fujitsu.com

スポーツドクター、内科医、エミネクロスグループ代表 辻 秀一 氏

社会力とは

平成一八年六月九日(金) 十八時四十五分～二十時十五分
汐留シティセンター 二四階大会議室

スポーツドクターが考える、ほんとうの

◆人間は、ひとりでは絶対に生きていけません。独立して見える人でも、他人の中で、すなわち**社会に囲まれて**生きていくのです。「社会力」とはそのように、他のひととの間、すなわち**社会のなかで**、いかに自分の能力を最大限に発揮できるか、自分らしくできるか、それを決定する力の一つなのです。

◆私はスポーツ選手と心の問題に常日頃から頭を悩ませていました。練習では実力があるのに、本番になると「いつもの力」が出せない—そんな選手やチームをサポートした後にテレビのスイッチを入れると、ブラウン管の向こうには、土壇場やピンチであればあるほど、本来の実力を発揮するマイケルジョーダンやタイガーウッズの姿が映っています。日頃自分がサポートしている選手とマイケル、タイガーとの差は、いったいどこにあるのか。肉体的な能力の差があるのは当たり前。でもそれだけじゃない、なにか**根本的に違うところがあるはずだ**—思い悩んだ挙げ句、ある時私は、ふっと気がつきました。

◆成功している企業は必ずと言っていいほど、顧客や株主だけでなく**社会全体**のことを見えています。つまり、それだけ企業としての「社会力」が高いのです。「社会」のことをよく知っているといつてもいいでしょう。

◆日常的な「今」は、苦しく「不快」なものがとかく多い。しかし何のために目の前の「不快」があるのでしょうか。それは「不快」よりもっと大きい「快」のためです。この「快」をしっかり見据えていれば、「今」の中にも「快」が生まれます。その気持ちを大切に今を好きになることです。～中略～どれだけ大きな「快」を得られるかは、もうこの「今」の時点で決まっていると、いつてもいいのかもしれない。

(以上、ほんとうの社会力より)

●同じものを着て、同じものを食べて、同じところに住んでいたりすると、一見「行動」の上でその集団は調和しているように見えるものです。そういった行動の統一化だけで、それをチームワークと思込んでいる指揮官もいます。しかし行動のルールだけでは、決して感情のハーモニーは生まれません。なぜならば、行動の根底には、**感情があるから**です。

●スポーツの世界で選手たちが目標を達成できるよう日々サポートしているわたしにとって、わたしの活動はさてコーチなのか、メンタルトレーナーなのか、チームドクターなのか、わからなくなることがあります。スポーツ医科学、スポーツ栄養学、スポーツ心理学など、さまざまな知識やスキルを用いて、選手達の競技力が向上したり、よりよい結果を彼らや彼女たち選手が手に入れたいようサポートしていますが、それは一言でいうと「人のためになりたい」という思いに集約されると気づいたのです。

(以上、人のためになる人、ならない人より)

＜人間力オープンセミナーとは＞

目まぐるしく変化する時代——。いまこそ、一人ひとりの「人間力」が重要になる。本能から湧き出る情熱や感動、さまざまな体験や失敗を繰り返しながら物事の本質を見抜く行動力と感性、変化に対応しつつもぐらつかない信念と責任感——組織の活力や創造性、そしてお客様との信頼関係は、そういった一人ひとりの「人間力」から育まれるものではないだろうか——。FUJITSU ユニバーシティでは、みなさん一人ひとりが持っている「人間力」を振り返り、見つけなおす場として、さまざまな分野で真剣に生きている人びとの生の価値観・人間観に触れるオープンセミナーを開催しています。

◆人間はポジティブなことと、ネガティブなことを同時に考えることはできません。ですからネガティブな考えをちゃんと受け止め、そして徐々にポジティブなことに考えをうつしていく。大切なのは「考えるタイミング」を間違わないことなのです。

FUJITSU

THE POSSIBILITY ARE INFINITE